

## 遅刻を防ぐためなら、 「押付け」や「強要」は 止めてください！

7月12日、突然、「乗務手帳の持ち帰り禁止と次勤務確認票の導入について」と表した掲示が出されました。掲示には、これまで「手帳を持ち帰って、出勤遅延の防止に努めるように」との指導から今度は「持ち帰り禁止」と180度方向転換する掲示内容になっています。

これまで、毎日の終了点呼時にも管理者が口を酸っぱくして言い続けていた内容がある日突然、正反対のことを言ったわけですから職場は大混乱となっています。

具体的には「手帳は持ち帰らずセキュリティボックスに収納し…」として新たに、「名刺サイズのザラ版紙に次の出勤時刻を書いて持ち帰る」という指導を掲示に書いています。

職場の社員にしてみれば、「えッ何でやねん？」と、昨日まで言っていた事とまったく反対のことを言っていることについて驚きを隠せません。

遅刻を防ぎたいなら、社員が気持ちよく出勤できる職場環境である安全・健康な労働条件を整えることが先ではないでしょうか！？ さらに、大学生の入社希望ランキングが常に上位となる企業である「JR東海」なら、安価な「ザラ版紙」などでなく「もっと格好イイ」ものがあつたはずです。これでは世間の笑い者にしかなりません。

いくら出勤時刻を確認するものの方法を変更しても、働く意欲を持って出勤するのは社員、人間です。職場が混乱し、社員が納得できない方法を無理やり押し付けたり、強要するようなやり方では意欲を出すどころか、「ワケが分からん職場」に行くのが嫌になるような逆効果しか生まれないのではないのでしょうか。

皆さん！今回の方法を「いい方法だ」と感じますか？

### 一方では、駅社員には「手帳の持ち帰り」を指導したまま！

今回、JR東海の新幹線の5箇所の乗務員職場一斉に出した掲示のようですが、何故か各職場で持ち帰る入れ物の形状や紙質・色が違います。また、駅の社員には以前のまま「手帳持ち帰り」を指導しています。このように、社員を人体実験の材料として効果を比べているように感じるのは考えすぎでしょうか。

「リニア」を走らせようとしている「一部上場企業」なら、もっと社員を信用し、世間に自慢できる職場環境と「手帳」を持たせて欲しいものです。